



▲石岡小学校の保護者が企画した芸術鑑賞会の様子（昨年7月）。歌手のうたうたいりりいさん（石岡市在住）とシーナアキコさん（都内在住）を招き行われました。音楽のもつ大きなエネルギーに触れた子どもたち。豊かな心を育むのは、文化の力です。

本当に必要な文化施設の力たちを探る

令 和2年3月末、石岡市民会館が閉館しました。

今から52年前、高度経済成長期の昭和43年（1968年）、石岡小学校隣に開館。鉄筋コンクリート造で、約1000人を収容する大ホールと2階建ての管理棟は、結婚式場として使われたこともありました。

昭和40・50年代は、美空ひばりさんといった大物歌手や、フルオーケストラを招きコンサートを実施。都会の文化に触れられる施設として役割を果たしてきました。

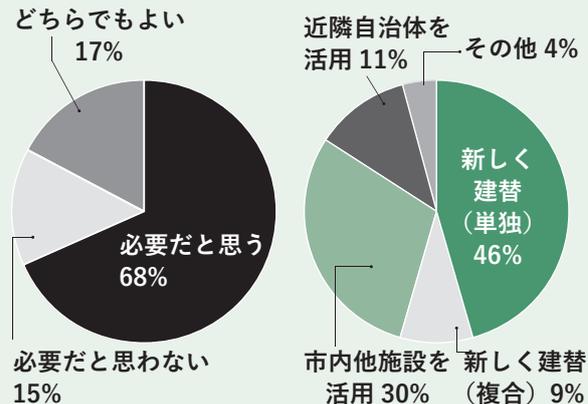
しかし、平成8年からは利用者数は減少傾向へ。市出身の渡辺直美さんや、ビジュアル系バンドM.U.C.Cなど石岡市に縁ある人のライブが開催される場所を…という声を受け、映画上映会を企画するな

平成30年度実施 (回収数：1,315枚、回収率：32.9%) 「石岡市民会館のあり方調査」

▶ 10~80代の住民4,000人を対象にアンケートを実施しました。

7割が文化ホールが必要で、単独で新しく建替という声が4割強ですが、複合化や他施設活用の割合も約4割になります。

Q.文化ホールは必要？ Q.老朽化する市民会館をどうしたらいい？



ど、文化施設のあり方を模索してきました。

しかし、東日本大震災後の平成25年に実施した耐震診断では、十分な耐震性能が確保されていないことが判明しました。

石岡ならではの文化とは何だろう…

通信技術の発達で、地方にいながら、世界中の情報を得られるようになりました。

また一方で、その土地固有の文化や芸術の持つ力が注目されています。

そこで市では、文化に触れる機会を多様な人たちに提供する、地域の文化芸術活動を推進していきます（文化芸術推進基本計画「令和元年度策定」）。

石岡で心豊かに生きていくためには、まちへの愛着と誇りが必要です。史跡、まつり、酒造り。豊富な食材、茅葺民家や看板建築といった建物。見渡せば、こんなにも豊かな文化の土壌があるのです。

今こそ、私たちが育む文化について話し合っていきたいと思えます。

石岡市民会館に代わる 新文化施設を検討

今

年度から「文化施設整備事業基礎調査」を実施します。これは全国の文化施設の事例を参考にしながら、今後の石岡市に求められる文化施設の機能、規模、立地などに関する構想をまとめる調査です。

私たち市民にとって「本当に必要な文化施設」のあり

方やコンセプトを探ります。

**文化施設に求められる
いくつもの機能**

市内公共施設数は186。建物延床面積は27・1万㎡(東京ドーム6個分)。人口減少と少子高齢化が進行し、日本の高齢者人口(65歳以上)がピークを迎える2040年、

石岡市の高齢化率は42%という推計が出ています。今後、現状のままでは公共施設を継続することは困難になることが予想されます。そこで令和38年には、建物延床面積の20%を削減することとしています(公共施設等総合管理計画・平成28年度策定)。

全ての世代が、いつまでも地域で暮らせるように、住宅地と、暮らしに不可欠な商業・医療・福祉などの施設の立地も、同時に考えていかなければなりません(立地適正化計画)。

平成30年度策定)。石岡市の未来を考え、公共施設の「複合化・多機能化」や「民間活力」の導入も積極的に考えていきます。

**あなたの意見を
聞かせください**

石岡市民会館のあり方調査(平成30年度実施)では「子どもたちが健やかに育つためには文化に触れる場が必要」といった意見がある一方、「将来の負の遺産になることを危惧する」という意見も寄せら

れました。

新たな施設が、地域文化を育む拠点となるように、限りある資源の中で、最良の方法を探っていきたいと思っています。今年度、皆さんの声をじかに聞くワークショップも計画しています。

皆さんの意見をお寄せください。市ホームページから回答できます。



▲文化施設意向調査フォーム。二次元コードから回答できます。

全国のまちの事例から 文化施設の生かし方

●パターン1

徹底した住民参画で、まちの拠点へ



四季文化館みの〜れ
(小美玉市)

▶平成14年開館。文化施設を、行政のハコモノではなく「市民の創造的活動の拠点」へと進化させ、文化を通じたまちづくりを担う住民活動が数多く誕生しました。

●パターン2

埋蔵文化財センターや公民館を併設



多賀城市文化センター
(宮城県 多賀城市)

▶昭和62年開館。1,000人以上の大ホールを持つ市民会館と、公民館・埋蔵文化財調査センターの機能を持つ複合施設です。

●パターン3

図書館やレストランを併設



ルミエール府中
(東京都 府中市)

▶平成19年開館。1・2階が市民会館、3~5階が中央図書館。料理講習室、音楽練習室のほか、レストランも併設されています。

文化施設整備事業 基礎調査のスケジュール

- 8-9月 ●市民意向調査の実施
 - 10-12月 ●関係者への聞き取り・ワークショップの実施
 - 令和3年 ●調査項目に関する
 - 1-3月 中間とりまとめ
 - 5-8月 ●サウンディング調査(※)の準備・実施・とりまとめ
 - 9月 ●文化施設整備事業報告書(案)
 - 10-11月 ●パブリックコメント実施
 - 12月 ●最終とりまとめ
- (※) 活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査